

大蓮公園「SUE プロジェクト」が 「2022年度グッドデザイン金賞」に選出

南海不動産株式会社（社長：村上 一久）は、南海ビルサービス株式会社（社長：西山 哲弘）及び有限会社華まる園（社長：美馬 正和）と共に管理運営を行う、堺市南区にある大蓮公園での取組み“市民と賑わいを広げる Park-PFI 制度を活用した公園『大蓮公園「SUE プロジェクト」』”が、このたび 2022年度グッドデザイン賞（主催：公益財団法人日本デザイン振興会）において、「グッドデザイン金賞」を受賞しました。この賞は、10月7日に発表された「ベスト100」の中から選出される20件の経済産業大臣賞に該当します。

受賞にあたっては、公園施設の再生及び市民と連携したコミュニティ活動が高く評価されました。

SUE プロジェクトとは

堺市が公募した Park-PFI 制度を利用した「大蓮公園及び旧泉北すえむら資料館管理運営事業」の事業者に南海グループ公園管理団体が選定され、「SUE プロジェクト」として2020年8月に始動し、公園内に様々な施設をオープンいたしました。

大蓮公園内では、本プロジェクトに参加している各施設及び、新たに立上げた市民団体「OHASU FUN」とともに、より良い公園にするための活動しています。

地域住民を主体とした幅広い世代が活用できる公園空間を生み出し、旧泉北すえむら資料館や自然を活かす形で次世代にとっての「OUR HOME PARK(ふるさとの公園)」を目指しています。

<http://ohasu-park.com/>



グッドデザイン賞とは

1957年創設のグッドデザイン商品選定制度を継承する、日本を代表するデザインの評価とプロモーションの活動です。国内外の多くの企業や団体が参加する世界的なデザイン賞として、暮らしの質の向上を図るとともに、社会の課題やテーマの解決にデザインを活かすことを目的に、毎年実施されています。受賞のシンボルである「Gマーク」は優れたデザインの象徴として広く親しまれています。

<http://www.g-mark.org/>

